

# 姉妹都市ニューポート訪問滞在記



下田中学校 鈴木 愛海

初日はとても不安でした。英語が伝わらないときに助けられていた通訳さんはもういません。

しかし、ホストファミリーの皆さんは私の不安を崩すようにたくさん話しかけてくださいました。

カヌーなどなかなか出来ない貴重な体験をし、毎日が流れるように進んでいきました。何かしたいことがあるか？とかお腹すいてる？など常に気遣ってくれました。ホームステイ先でパーティーにも参加して、沢山の友達と話す機会をいただきました。

スパニッシュを話す方など多民族社会であることを強く感じました。

また、ニューポート市の黒船祭の式典などに参加しました。約160年前、ペリー提督が日本に訪れてから下田と

ニューポートの友好関係は続いています。

このニューポートと下田の友好関係は大切に守るべき長い歴史であることを実感しました。

このニューポート訪問でより身近に感じられるようになった英語をさらに高め、将来の日常生活で使えるようになりたいと思います。

今回の体験全てが自分を成長させてくれたと思います。今までより違った考え方ができるようになりたいです。

下田東中学校 森田 勇輝

行くまでは現地の食べ物や英語が伝わるかなど、不安なことがたくさんありました。

実際に行ってみるとニューポート市は気温も丁度良く、とても過ごしやすいまちでした。

そして、不安だった食べ物、大きなステーキでびっくりしましたが、美味しかった

です。ホームステイ先のお父さんが朝ごはんも焼いてくれたワッフルがとても美味しく、メイプルシロップの味も本格的でした。

英会話は想像していたよりもセンテンスが短く、聞き取ることができ、会話になったのが嬉しかったです。

僕の英語も現地の人に通じて自信ができました。

ホストファミリーのみなが色々なスポーツ観戦に連れて行ってくれました。

特にテニス観戦が楽しかったです。ポイントが決まると会場全体の応援が盛り上がり、迫力がありました。

最終日にはニューポートワインナリーで開かれたフェアウエルパーティーに参加しました。ここではホームステイ先のジャック君やその友達と一緒にジェンガやドッジボールをして交流を深めることができました。

この素晴らしい下田をもっと大切にしていきたいと思えます。

稲梓中学校 小泉 詩士

ニューポート市に行ってきた皆さんのことを学びました。

まず、譲り合いの心です。家の中に入るときや、車に乗るときなど、一人がドアを押さえてあげていて、「先にどうぞ」と言って譲っていました。

外に出かけたときも、公共のトイレを譲り合いながら使っていました。

他にもたくさんさんの配慮を当たり前のようにしているのを見かけました。稲梓中学校の生徒会では、こういった配慮を広げる活動に取り組んでいます。

アメリカでのことを僕自身が見習って、活動を広げていきたいです。

ニューヨーク市立大学では、日本とアメリカの歴史について学びました。日本とアメリカがいつから関わっていたのか、ハリスとペリーのことなどを学んで、日本とアメリカの関係が思っていた以上に深いことを知りました。

より細かいところまで学ぶことができ、歴史に対する興

そして英語でニューポートでの体験をスピーチしてきました。

僕は、「I enjoyed shopping at New Port」と言おうとしたのですが、最後を「In New Port」と間違えて言ってしまいました。

ニューポートのみなさんが笑ってくれたので、アメリカンジョークになってほっとしました。

僕はこの体験を通して英語を話せる楽しさを知りました。これからもっと勉強して東京オリンピックで日本に来た色々な国の人と交流できるようになりたいです。

稲生沢中学校 若本ことね

最初はすっかり英語で喋れる心配でした。

しかし、ホストファミリーが分かりやすくゆっくり喋ってくれ、一緒にホームステイをした鈴木愛海さんが助けて

味を広げることができました。

ホストファミリーはとても親切で、優しく接してくれました。最初は緊張してなかなか話が出来なかつたけれど、ホストファミリーから積極的に話しかけてくれたおかげで最後はとても楽しく過ごせて自分から話しかけられるようになりました。

カヌーに乗ったり、買い物に行ったり自転車タクシーに乗ったりしたことが印象に残っています。

日本にはないものを見たり、日本ではできないことを体験したりして、良い思い出ができました。

初めは心配ばかりでしたが帰るときには「もう少しいたい」と思えるほどでした。

なかなか英語が通じなくて、身振り手振りで話をするのが多かったです。これからは受験生としてしっかり英語の勉強をして、次にアメリカに行くときは自分で話せるようになりたいです。

下田中学校教諭 船渡祥太

教師3年目にして、ニューポート市訪問という体験ができたことは、私にとって大き

くれたおかげで会話をすることができました。

ホストファミリーとご飯を食べに行ったり、海へ行ったりして、一緒に過ごして不安だった気持ちがどんどん楽しさに変っていきました。

少しずつ慣れていくと相手は何を喋っているのか分かるようになっていってとても嬉しかったです。

訪問中はニューヨーク市立大学やハリスのお墓への訪問、ニューポートの黒船祭に参加して、より下田との歴史を知ることができました。

また、ニューポート市の方々は私達にとっても優しくしてくださり、改めて姉妹都市の素晴らしさを知ることができました。

一週間という短い滞在でしたが、自分を成長させる良い機会となりました。

この訪問で下田の良さを改めて知ることができました。

な財産となりました。

現地の黒船祭の記念式典、ペリー提督墓前祭に参加し、下田の黒船祭とは異なる現地の黒船祭を体験できました。

また、今回の訪問で一番の思い出と言ってもいい体験である、ホームステイもさせていただきました。

ホストマザーは私のことを自分の息子のように扱ってくれ、アメリカの一般家庭の生活を体験できました。

初めは緊張しかなかったものが、最終日にはどこか名残惜しい気持ちになるほど、とても充実した3日間を過ごすことができました。

私自身、初めての渡米で、多くのことを学んだり体験したりすることができるとい期待と、責任を持って中学生を引率していくことや、自分の英語力が現地ですこまで通用するのとかという不安があったものの、日が経つにつれてその不安は徐々に取除かれ、有意義な日々を過ごすことができました。

一生忘れられない体験ができたことは、生徒達も自分自身をも、一回り大きく成長させたことだと思います。

